

事業番号0062											
平成29年度行政事業レビューシート（厚生労働省）											
事業名	臨床研修修了者アンケート調査費				担当部局庁	医政局			作成責任者		
事業開始年度	平成22年度	事業終了 （予定）年度	終了予定なし		担当課室	医事課臨床研修推進室			室長：田村 卓也		
会計区分	一般会計										
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	－				関係する計画、 通知等	平成15年6月12日医政発第0612004号「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」第5					
主要政策・施策	－				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	医師臨床研修を修了する医師からの、各自が経験した臨床研修のプログラム、進路希望、希望勤務地等の情報をアンケート調査により収集し、へき地や離島、産科・小児科等の診療科への医師の誘導策を検討する材料とするとともに、臨床研修制度の評価及び継続的な見直しの検討の材料とするもの										
事業概要 （5行程度以内。別添可）	毎年3月末までに臨床研修を修了する全ての医師にアンケート調査を実施										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額 （単位：百万円）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	2	2	2	2	2				
		補正予算	－	－	－	－					
		前年度から繰越し	－	－	－	－					
		翌年度へ繰越し	－	－	－	－					
		予備費等	－	－	－	－					
	計		2	2	2	2	2				
	執行額		2	2	2						
	執行率（％）		100％	100％	98％						
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		100％	100％	98％							
平成29・30年度 予算内訳 （単位：百万円）	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	庁費		2	2							
	計		2	2							
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 29年度	目標最終年度 30年度	
	アンケート回収率について 前年度以上とする。		アンケート回収率	成果実績	％	78.4	84.8	83	－	－	
				目標値	％	76	78.4	84.8	83	83	
				達成度	％	103.2	108.2	97.8	－	－	
根拠として用いた統計・データ名 （出典）	臨床研修修了者等アンケート調査結果										
活動指標及び 活動実績 （アウトプット）	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	調査客体数			活動実績	人	7,534	7,326	7,378	－	－	
				当初見込み	人	7,545	7,534	7,326	7,378	7,378	
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位あたりのコスト＝X／Y X:執行額 Y:アンケート回収枚数			単位当たり コスト	円	323	314	317	332		
				計算式	X/Y	1,907,064円 /5,905件	1,951,560円 /6,209件	1,954,044円 /6,164件	2,034,000円 /6,124件		

事業所管部局による点検・改善						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	医師臨床研修を修了する医師から収集したアンケートにより、臨床研修制度の評価及び見直しの検討材料等とするためのものであり、臨床研修の質の向上に資する重要な事業であり、国費を投入すべき。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	医師臨床研修は医師法の改正における付帯決議において、国が実施すべき事業とされており、医師臨床研修制度の見直しについても引き続き国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	医師臨床研修を修了する医師から収集したアンケートにより、臨床研修制度の評価及び見直しの検討材料等とするためのものであり、臨床研修の質の向上に資する優性度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	少額随意契約であり、支出先については妥当である。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。			有		
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	経費削減に努めており、受益者との負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	合理的かつ必要な経費に限られているため、単位あたりのコスト水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	必要最低限の経費のみの予算計上としている	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			-	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	複数社より見積を取り、より低価格で実施できるよう努めている		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	目標をわずかに下回ったものの、達成率について、高い水準で推移しており、見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	アンケートの回収率の向上を目標とし、対前年度比で向上している。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	アンケート調査の結果は、制度見直しにかかる検討材料として活用している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			-	-	
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	本調査は、調査客対数がほぼ横ばいで推移し、また、アンケート回収率も目標をわずかに下回ったものの、高い水準で維持していることから、今後も医師臨床研修を修了する医師に対して、各自が実際に経験した臨床研修プログラム、希望する進路、勤務地、条件や出身地、出身大学等の情報を求め、へき地や離島、産科・小児科等への医師の誘導策等を検討するために、継続的なアンケートが必要である。				
	改善の方向性	臨床研修修了証の交付日にアンケートを配布し、併せて記載してもらうなど、アンケート回収率の向上策を実施している。また、より少ない予算で同等以上の成果を引き出すため、毎年複数社から見積を取り、より低価格で実施するようにしている。				
外部有識者の所見						
アンケート回収率の向上に努め、引き続き適正な事業執行を行うこと。（横田 響子）						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 り 状 通	外部有識者の所見を踏まえ、アンケート回収率の向上に努め、引き続き適正な事業執行を行うこと。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 り 状 通	アンケート回収率の向上に努め、引き続き適正な事業執行を行う。					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	—	平成23年度	847	平成24年度	735	
平成25年度	51	平成26年度	56	平成27年度	59	
平成28年度	60					

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)	※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。				
	厚生労働省 2百万円 〔医師臨床研修を修了する医師からアンケート調査を行い、医師の誘導策を検討する材料とするとともに、臨床研修制度の評価及び継続的な見直しの検討の材料とするもの〕 ↓ 【随意契約(少額)】 A. (株)イマージュ等(2者) 2百万円 〔臨床研修修了者アンケート調査集計等〕				
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(株)イマージュ			B.	
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	金額 (百万円)
	庁費	調査等集計業務	1		
	計		1	計	0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)イマージュ	3011101002154	調査等集計業務	1	随意契約(少額)	-	100%	-
2	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	3010401011971	調査分析業務	1	随意契約(少額)	-	100%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-